

個人投資家向け IRセミナー

「主催：ログミーFinance」



2022年3月12日

トレックス・セミコンダクター株式会社

私たちトレックス・セミコンダクターは

小型化・省電力化で

豊かな社会の実現と地球環境の保全に貢献します

1 会社紹介

2 事業内容

3 2022年3月期 業績

4 中期経営計画

5 株主還元

会社紹介

2014年4月にJASDAQスタンダード市場に上場、2015年10月に東証二部に市場変更し、2018年3月に**東証一部**指定となった、創業26年の**半導体メーカー**です。

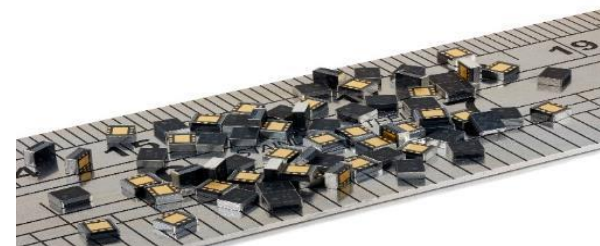
アナログのチカラ

ABOUT TOREX

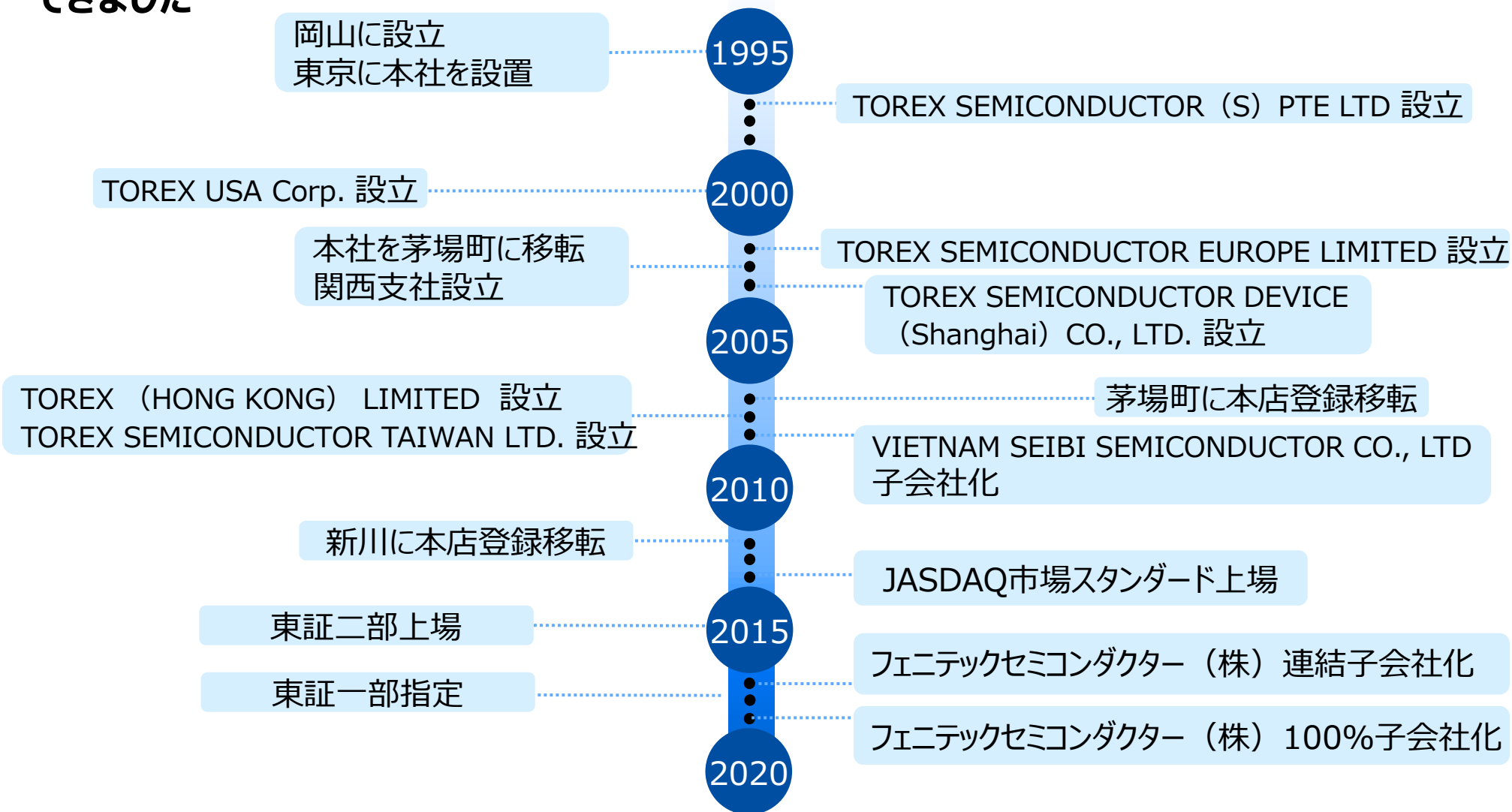
所在地	東京都中央区新川1-24-1 DAIHO ANNEX 3F
代表者	代表取締役社長 芝宮 孝司
資本金	29億6793万円（2021年12月31日現在）
事業内容	1.半導体デバイスの開発、設計製造 2.半導体デバイスの販売
従業員数	当社：174名 / グループ：1,017名
上場証券取引所 及び上場日	東京証券取引所 市場第一部 2018年3月22日（4月以降プライム市場へ移行予定）
単元株式数	100株
決算期	3月末日
証券コード	6616
URL	https://www.torex.co.jp/

企業理念

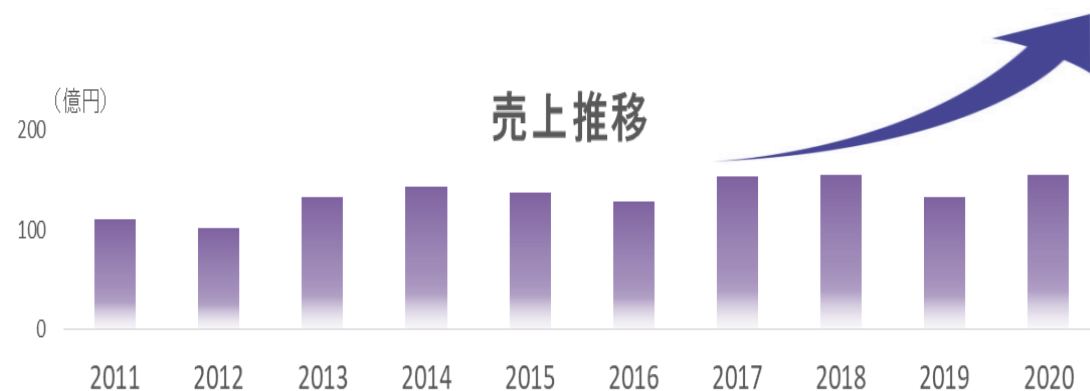
常に豊かな知性と感性を磨き、市場に適応した価値ある製品を創出し、豊かな社会の実現と地球環境の保全に貢献するとともに、私たちの事業に携わるすべての人々が共に繁栄することを企業の理念とする。



●電源IC一筋、**省電力・小型化**の技術でエレクトロニクス産業技術の発展に貢献してきました



会社名	フェニテックセミコンダクター株式会社
代表取締役	会長 藤阪 知之 社長執行役員 石井 弘幸
所在地	岡山県 井原市 木之子町150
資本金	16億円
売上高	154億円（2021年3月期）
社員数	685名（うち岡山工場520名、鹿児島工場141名）（2021年4月1日現在）
生産能力	月産 5インチ 55,000枚 6インチ 52,000枚（次ページ参照）



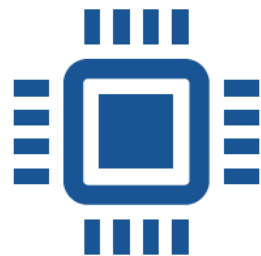


- 1. 本社工場 岡山県井原市（閉鎖予定）
ウエハサイズ：生産能力
5 inch : 35,000枚/月
- 2. 第一工場 岡山県井原市
ウエハサイズ：生産能力
5 inch : 20,000枚/月
6 inch : 33,000枚/月
- 3. 鹿児島工場 鹿児島県湧水町
ウエハサイズ：生産能力
6 inch : 19,000枚/月

事業内容

トレックス・セミコンダクター

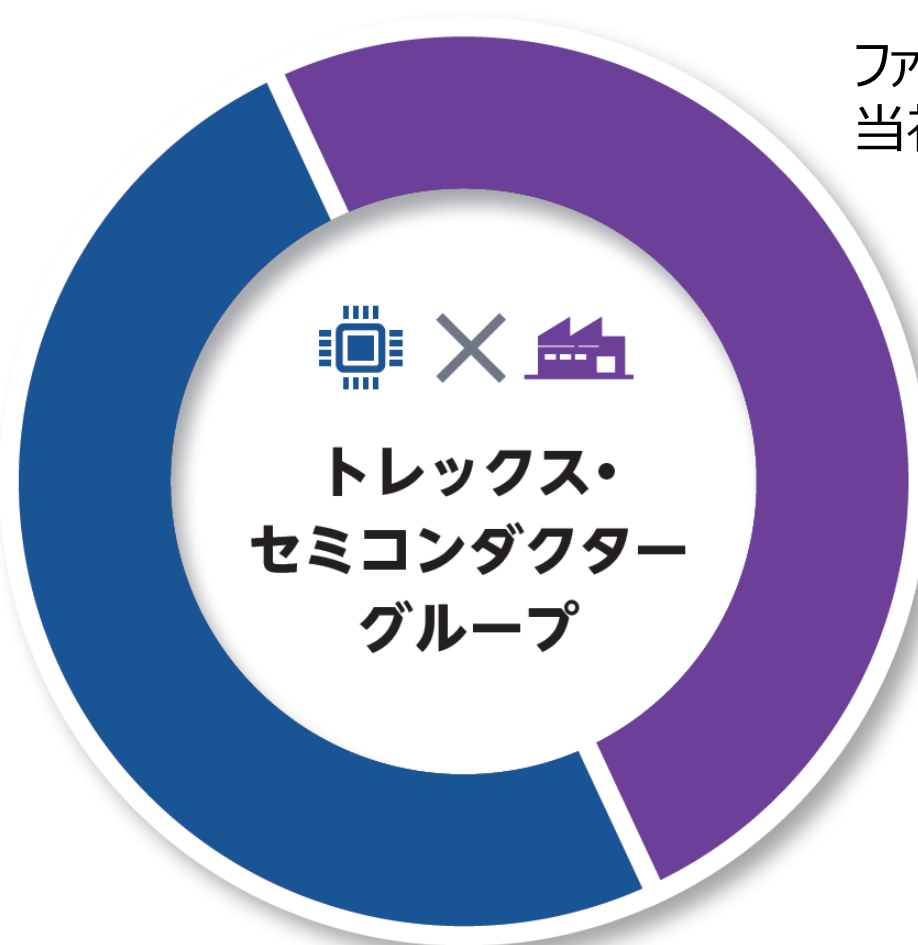
超小型・省電力
電源ICの開発・販売



フェニテックセミコンダクター

ファンドリー（半導体受託製造）
当社出資比率100%

Phenitec
For Further Growth Together



トレックス・
セミコンダクター
グループ

※ファンドリー：顧客から半導体の製造工程を受託し、顧客の設計データに基づいて半導体を製造する会社

TOIREX



トレックス・ セミコンダクター

**ファブレスメーカー
アナログ電源IC専業**

強
み

- ・省電力／小型化の技術
- ・蓄積されたアナログ回路ノウハウ
- ・マーケティングと製品企画力
- ・フレキシブルな生産工場
- ・高品質をキープするQC
- ・ワールドワイドの製品販売網

Phenitex
For Further Growth Together



フェニテック セミコンダクター

**半導体受託専業(ファウンドリ)
ディスクリート、パワーデバイス、
CMOSアナログプロセス**

強
み

- ・高品質を支える生産ノウハウ
- ・長期安定供給のJapanFab
- ・車載 IATF16949取得工場
- ・専門性の高い製造対応力
- ・オリジナルデバイスの開発力
- ・パワーデバイスの開発力



トレックス・ セミコンダクター グループ

- ・顧客第一に徹した、小回りの利く対応力
- ・積極的なコラボレーションやM&Aによる協力関係の構築

**ファブレス&ファウンドリ
それぞれが本業を突き詰めたプロ集団となり、
相互補完でシナジーを発揮する。**

- 国内に東京本社を含む 8 拠点、海外に9つの拠点を設け、世界の需要に対応しています。



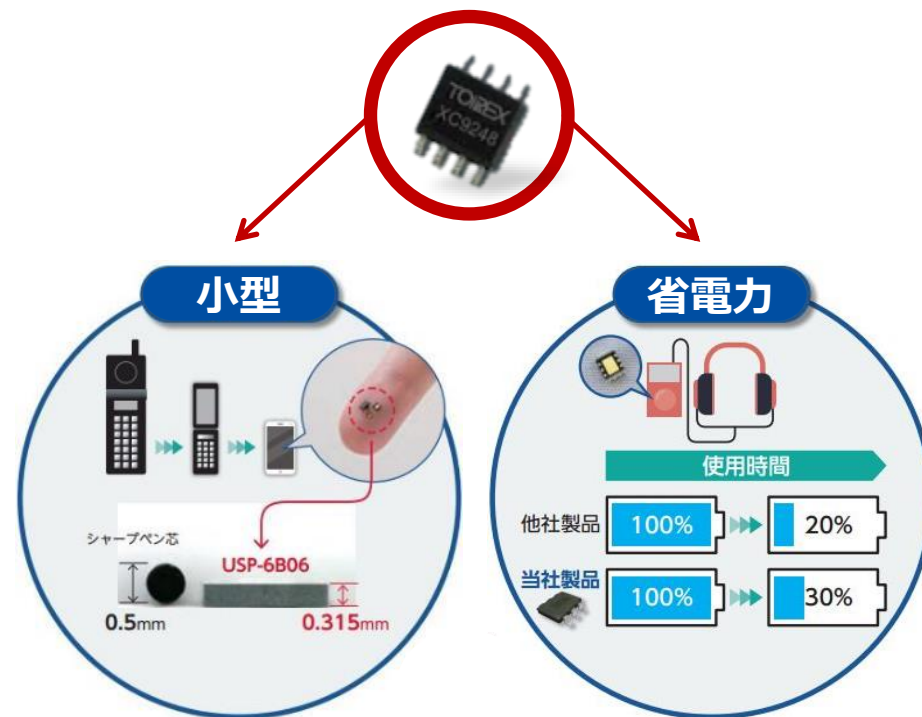
- 世界トップクラスの小型・省電力電源ICを開発・販売しています。

電源ICの役割



電子機器の様々な機能を動かすために
電圧を制御し安定供給する

TOIREXの電源IC



独自の技術で電子機器の
小型化、省電力化に貢献

- 電気を必要とする**機器**には **すべて** 電源ICが使われています

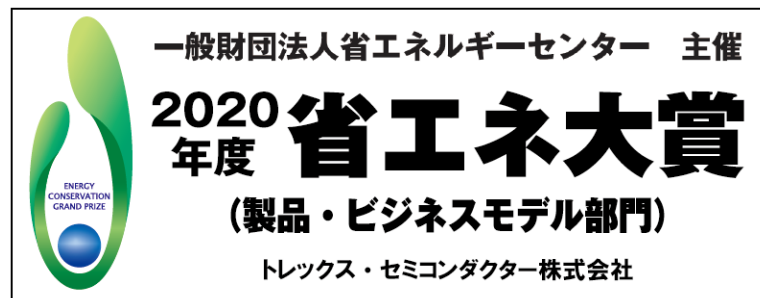


世界は「アナログ」でできている
あらゆるフィールドで採用されるトレックスの電源IC

家電製品	液晶テレビ / 美容機器 / 家庭用ゲーム機 / 生活家電 / ホームシアター / LED照明	産業機器	産業用ロボット / POSレジスター / POS端末 / 工業用測定器 / スマートメーター / セキュリティ機器
医療機器	電子体温計 / 体重計 / 血圧計 / 心電計 / 血糖値計 / モニタリング機器	車載機器	カーナビゲーション / カーオーディオ / パワーウィンドウ / パワーシート / ETC車載機 / ドライブレコーダー用カメラ / バックビューモニター用カメラ
ウェアラブル機器	スマートウォッチ / スマートグラス / スマートカード / ウェアラブルカメラ / ウェアラブル端末	PC関連・コミュニケーション	スマートフォン / PC周辺機器 / デジタルカメラ / ICLレコーダー / ノートパソコン / 電子辞書 / 電子書籍端末 / 携帯ゲーム

トレックスの電源ICは、省電力/小型のスペックが評価されています。

2020年度



XC9276シリーズ : DC/DCコンバータ
高い省エネのポテンシャルをご評価いただきました。
(省エネルギーセンター会長賞)

2018年度



経済産業省主催

XC9265シリーズ : DC/DCコンバータ
搭載電池の高寿命化もしくは小型化に対応できる
ことをご評価いただきました。(優秀賞)

2019年度



日刊工業新聞主催

XC9281/XC9282シリーズ : DC/DCコンバータ
世界最小の実装面積を実現したことをご評価いただきました。
(奨励賞)

2018年度



日刊工業新聞主催

XC6192シリーズ : ロードスイッチIC
機器の長期保管時における消費電力を大幅に削減できる
ことをご評価頂きました。(電気・電子部品賞)

- フェニテックセミコンダクターは、国内唯一の半導体受託製造専門メーカーです。

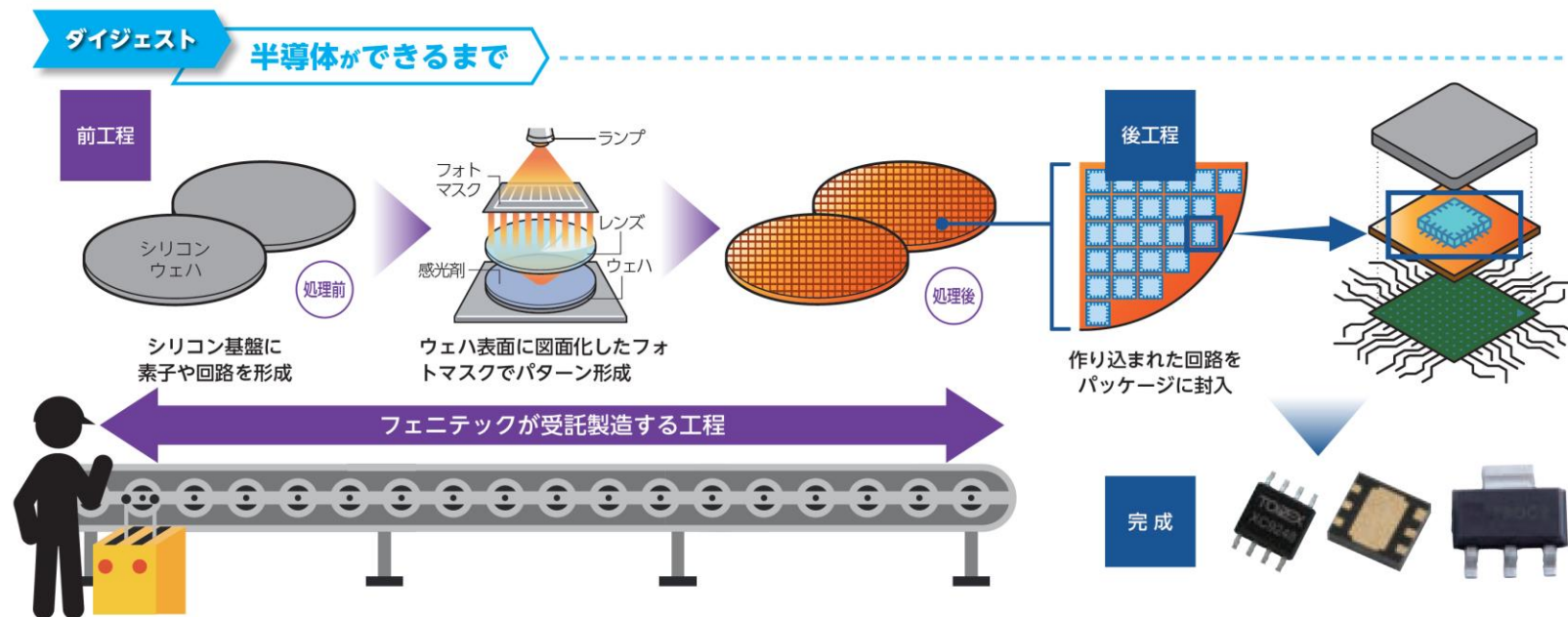
ディスクリートの中でも省エネ性能に優れた**パワー半導体**を主力製品としています。

ディスクリート

1つの機能だけ備えた**単機能半導体**
半導体業界の“ねじ”、“くぎ”のような存在

パワー半導体

電気回路の動作部分で使用され、小さな電力から大きな電力までを扱う。
あらゆる電子機器の省エネ性能を高める半導体



- お客様からの生産受託だけでなく、自社開発のオリジナル製品も提供しています。

前工程(ファンドリーサービス)				
生産			部分加工	
自社開発品 =オリジナル製品		生産受託品 =カスタム製品		生産受託品 =カスタム製品
既存製品を提案/提供	お客様の要望にあわせてカスタム製品を開発/提供	自社保有のプロセスを利用してお客様設計製品を生産	お客様からプロセスと設計を移管していただき、お客様製品を生産	ウェハー生産の一部を加工処理



岡山工場



鹿児島工場



お客様のニーズに基づいたファンドリーソリューションを提供することで低コスト・高品質の製品を実現

※ファンドリー：顧客から半導体の製造工程を受託し、顧客の設計データに基づいて半導体を製造する会社

	トレックス・セミコンダクター	フェニテックセミコンダクター
事業形態	ファブレス	ファンドリー
主な製品	<p style="background-color: #FFD700; text-align: center; padding: 5px;">省エネに貢献するキーデバイスを提供</p> <p>電源IC</p>	<p>ディスクリート パワー半導体 (SiC、GaN、酸化ガリウム)</p>
今後の重点市場	<p>産業機器 5G、IoTモジュール 全固体電池モジュール</p> <p>車載機器 自動運転、ADAS、車載カメラ 電子ミラー他、様々なECU</p>	<p>産業機器 産業用ロボット、鉄道、インバータ 発電施設（風力・太陽光）、パワーコンディショナー</p> <p>車載機器 EV向けパワー半導体 電装品</p>



5G



IoT



自動運転



EV

2022年3月期 業績

(単位：百万円)

科目	21.3期 3Q累計実績	22.3期 3Q累計実績	対前年同期比 増減率
売上高	17,170	22,920	33.5%
営業利益	693	2,897	317.6%
営業利益率	4.0%	12.6%	8.6pt
経常利益	526	2,946	459.9%
親会社株主に 帰属する四半期純利益	388	2,044	426.6%
EPS (円)	35.5	186.9	426.5%
海外売上高比率 (*1)	71.3%	68.3%	▲3.0pt
平均為替レート (1\$=)	¥105.9	¥111.4	-
減価償却費	872	919	5.4%
設備投資	860	1,126	30.9%

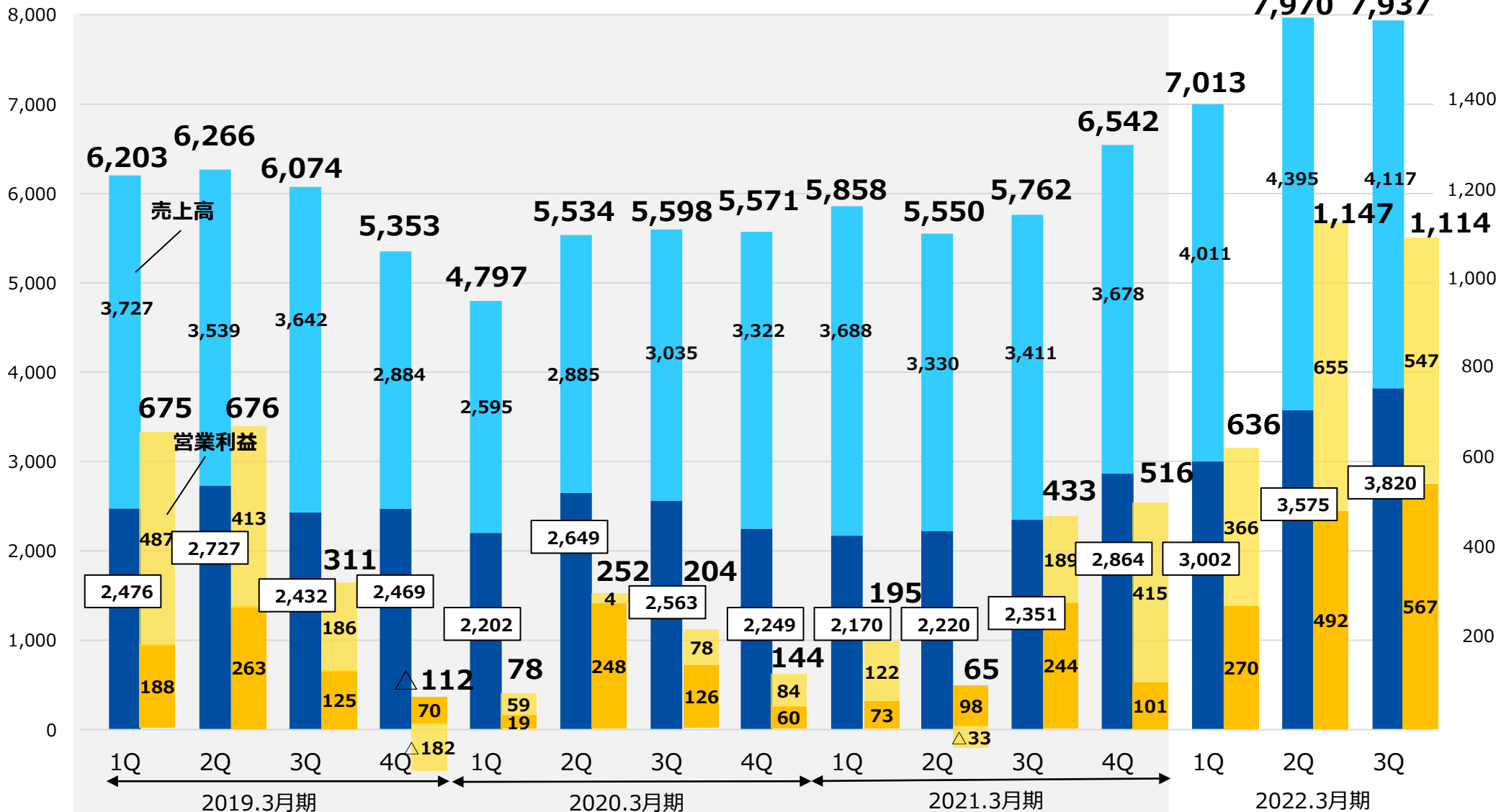
(*1)海外売上高比率：外貨建て売上比率

売上高・営業利益の四半期推移



(左軸：売上高) トレックス : ■ ■
 (単位：百万円) フェニテック : ■ ■

(右軸：営業利益)
 (単位：百万円)



3Q決算の好調をうけて通期予想を3度目の上方修正

(単位：百万円)

科目	21.3期 通期実績	22.3期 業績予想 (8/13)	対前年 同期比 増減率	22.3期 業績予想 (11/15)	対前年 同期比 増減率	22.3期 業績予想 (2/14)	対前年 同期比 増減率
売上高	23,712	28,500	20.2%	29,500	24.4%	30,500	28.6%
営業利益	1,209	2,500	106.7%	2,700	123.3%	3,300	172.9%
営業利益率	5.1%	8.8%	3.7pt	9.2%	4.1pt	10.8%	5.7pt
経常利益	1,206	2,500	107.3%	2,700	123.8%	3,300	173.6%
親会社株主に 帰属する当期純利益	933	1,750	87.4%	1,890	102.4%	2,600	178.5%
EPS (円)	85.42	159.96	87.3%	172.76	102.2%	237.66	178.2%
平均為替レート (1\$=)	¥106.2	¥109.0	-	¥112.0	-	¥112.0	-
減価償却費	1,208	1,669	38.2%	1,600	32.5%	1,291	6.9%
設備投資	1,179	2,630	123.1%	2,630	123.1%	2,489	111.1%

中期経営計画

Powerfully Small !

CMOS電源ICとパワーデバイスで
脱炭素社会の実現を目指します。

今までも、これからも。

トレックスグループは、企業理念に「地球環境の保全」を掲げ、
省電力・小型、低損失な電源ICやパワーデバイスの開発
および生産を我々の「強み」として行ってまいりました。
これからも、この「強み」を生かし脱炭素社会の実現に
取り組んでまいります。

トレックスグループの GX とは、

- ・ 電子回路の省電力化と実装基板の縮小化の推進
 - ・ 発熱を抑える低損失パワーデバイスの推進
- により、脱炭素社会を目指すことです。

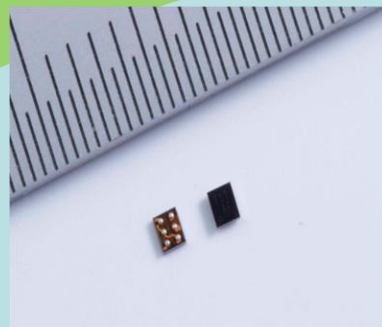
DC/DCコンバータ

省電力回路
部品の小型化
実装基板縮小



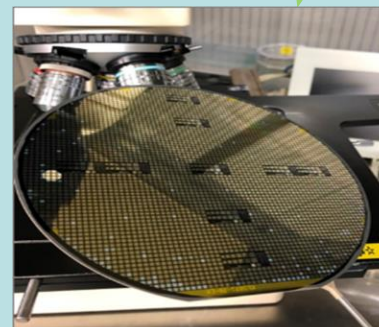
小型パッケージ

部品の小型化
実装基板縮小



パワーデバイス

低発熱
熱損失の低減



脱炭素社会



GXを
半導体で支える
グローバル
企業へ

小型・省電力技術で
社会に貢献する企業から

脱炭素社会への取り組みについて弊社サイトに開示しました。

詳細は以下のサイトをご覧ください。

<https://www.torex.co.jp/csr/sdgs/>



省エネルギー製品の開発で
脱炭素社会の実現に貢献

トレックスでは「高効率」「低消費」「小型」の電源ICの開発、提供により、脱炭素社会の実現に貢献していきます。



7 AFFORDABLE AND CLEAN ENERGY
12 RESPONSIBLE CONSUMPTION AND PRODUCTION
13 CLIMATE ACTION

高効率・低消費製品の開発

小型・省スペース

トレックスの高い技術力

トレックスグループ 数値目標

2023年度

連結売上高：300億円

営業利益：30億円

2025年度

連結売上高：350億円

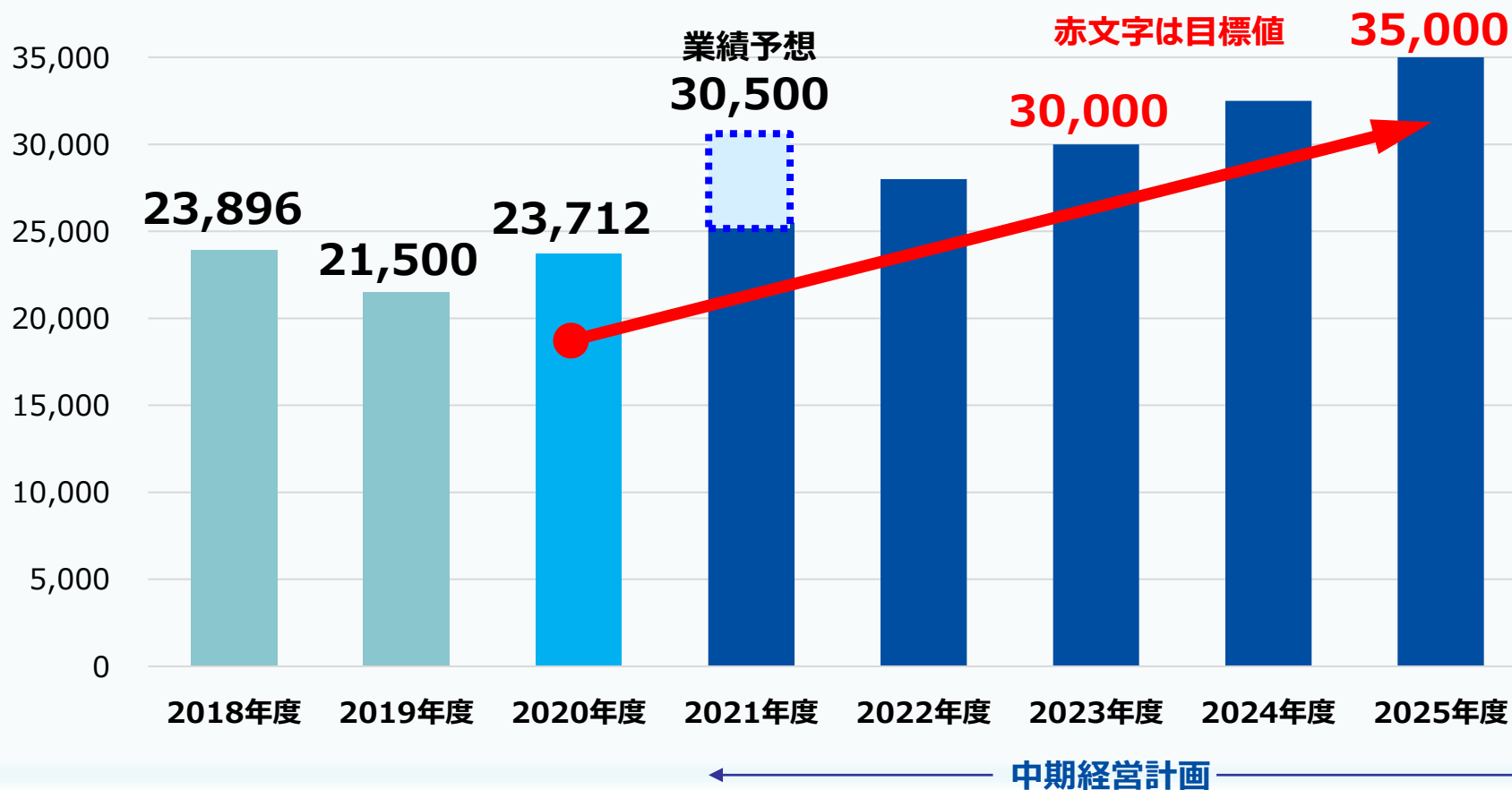
営業利益：40億円

DOE：3.0%

2023年度の目標を前倒して達成見込み

トレックスグループ連結売上推移と目標

単位：百万円

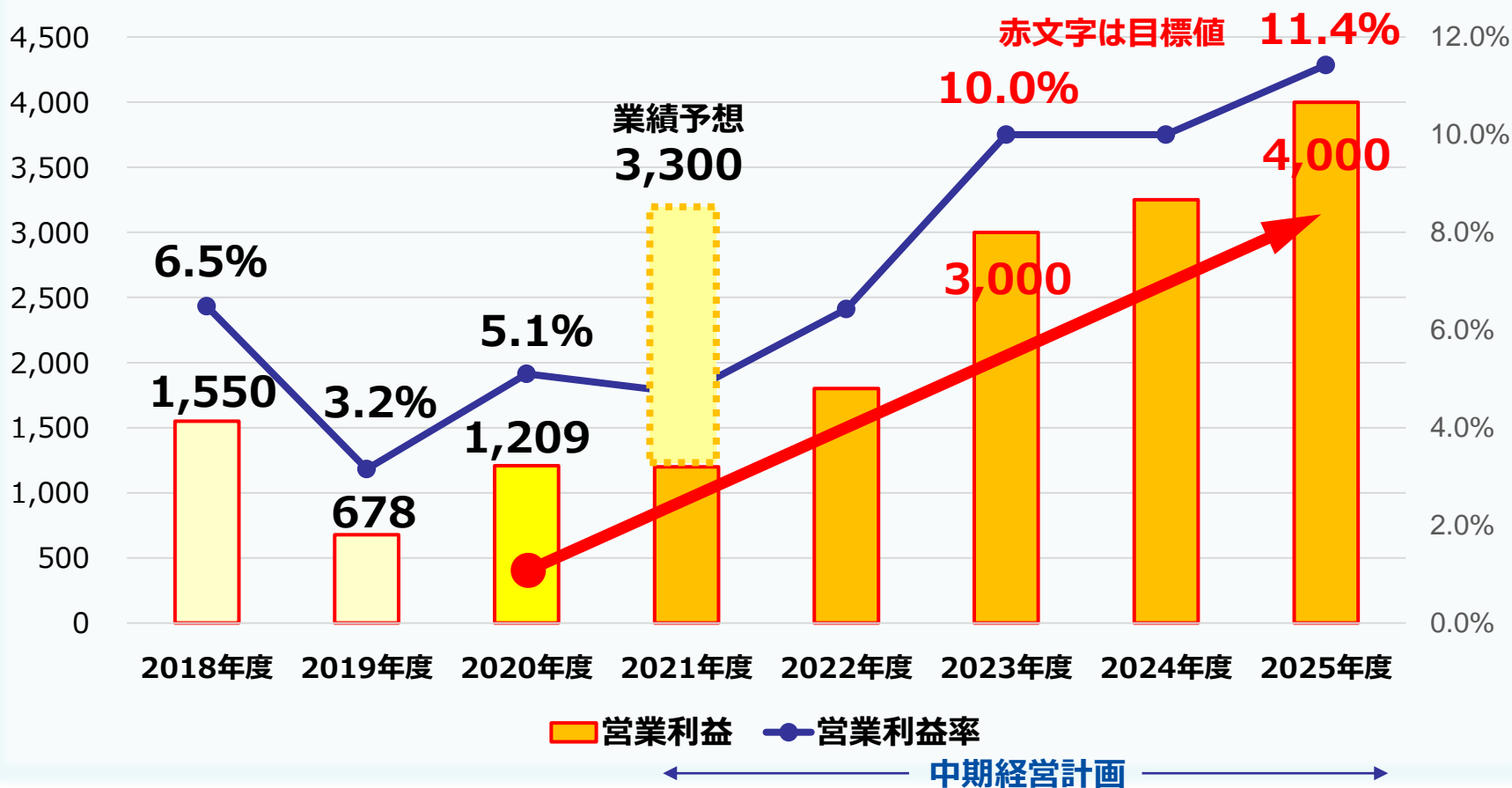


2023年度の目標を前倒しで達成見込み

左軸：営業利益
単位：百万円

トレックスグループ連結営業利益推移と目標

右軸：営業利益率
単位：%





トレックスの成長戦略



製品企画／開発の戦略

◆マーケット志向でタイムリーに！こだわった製品の企画

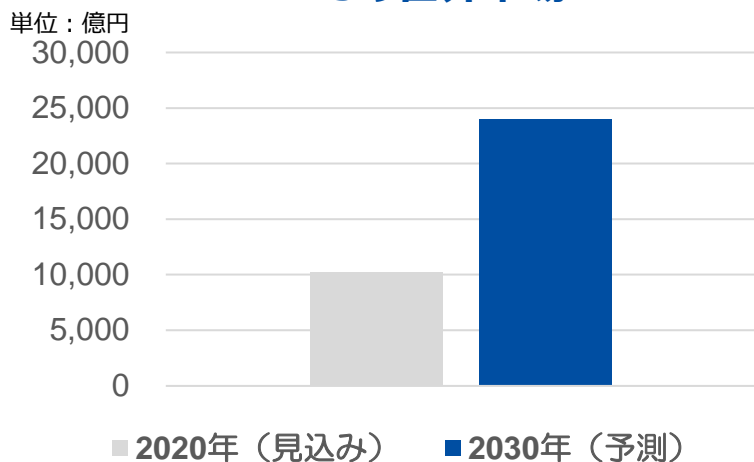
- ・ マーケット志向の製品企画を実現する製品企画部門の強化
- ・ より強い製品企画につながるコラボレーションとM&Aの推進
⇒ 市場に先行した新技術である酸化ガリウムデバイス開発推進

◆強みを際立たせた、高付加価値製品の開発を強化

- ・ 車載／産機／医療市場で存在感を出す
⇒ ADAS、自動運転技術を支える電子機器向け電源ICの開発
⇒ 5G／IoT市場に特化した製品の拡充
⇒ 全固体電池、半固体電池に向けた電源ソリューションの提案
- ・ 高付加価値の電源ICとパワーデバイスの開発強化

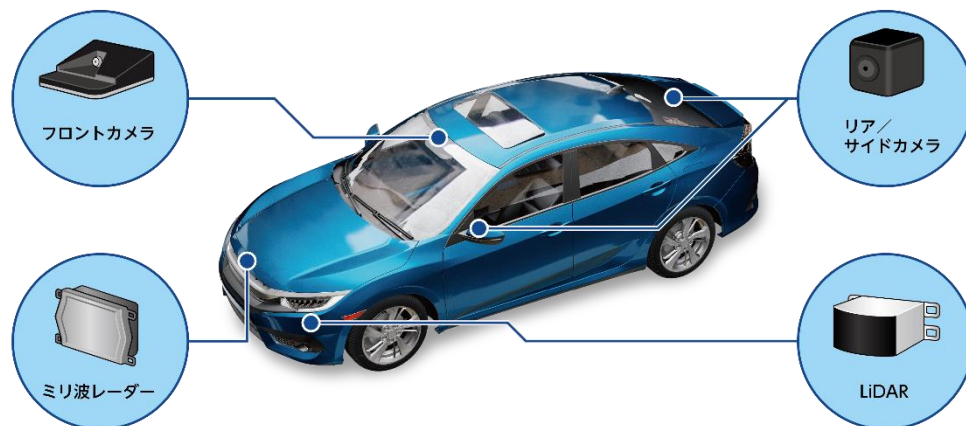
ADASの市場規模は、2030年に 2.4倍に拡大（2020年比）

ADASの世界市場



出展：富士キメラ総研

自動運転にとって「目」の役割を担う デバイスの増加



各種センサーやカメラ、マイコンには
高性能な電源ICが必要

トレックスの電源ICの特長が技術を支えます。

高効率

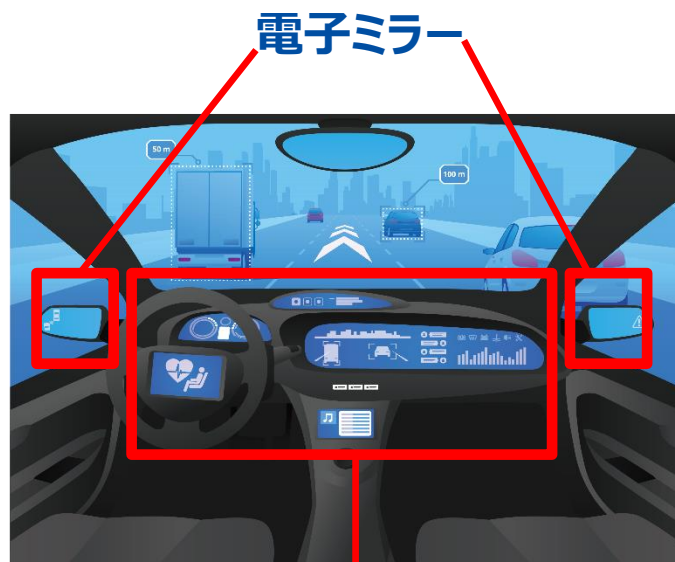
高品質

省エネ

熱の抑制

低ノイズ

カーインフォテイメント分野も更なる電装化



電子ミラー

ナビゲーション、メーター
ディスプレイ

車載分野の採用例

カーインフォテイメント、運転席

カーナビ、オーディオ、メーター、ディスプレイ
エアコン



ボディ系

パワーウインドウ
パワースライドドア
シート制御、電子ミラー

その他機能

ドライブレコーダー
ETC、車載カメラ
キーレスエントリー

- ・ 車載要求（IATF16949）に応じた製品の拡大
- ・ 高耐圧／大電流、低ノイズ製品のラインナップ拡大
- ・ コイル一体型DC/DCコンバータのラインナップ拡大



電源 IC のビジネス機会拡大

超小型、超低消費、低ノイズ製品の開発推進

非接触&瞬時にワイヤレス充電【次世代スマートカード 共同ソリューション】

- ✓ 近距離無線通信規格「NFC」充電対応のカード基板
- ✓ NFCリーダライタから電力を受け取り、専用ICで二次電池を効率よく充電・給電制御
- ✓ EnerCera®を用いカード決済中のごく短い時間に瞬時に充電、一次電池の弱点を解消
- ✓ 薄く&曲がる&コイル基板で クレジットカード等の受給電とデバイス機能をユニット化
- ✓ 次世代スマートカードの利便性が大幅に向上します

TOIREX

薄型、低消費電流の電源IC

- NFC カードリーダライタからの電力供給
- スマホからの電力供給
- EnerCera®への 安全な充電を制御



日本ガイシ

EnerCera® Pouch

- 薄型 チップ型セラミックス二次電池
- 高速充電タイプ



Fujikura

NFCコイル搭載 薄型フレキ基板

- クレジットカード規格対応曲がる基板
- 薄型スイッチ実装
- デュアルインターフェイス対応

トレックスは今後も、より強い製品企画に繋がるコラボレーションを推進します！

空間伝送型ワイヤレス電力伝送システムの普及に向けた協業を開始

- ✓ 日本ガイシ株式会社、Ossia Inc（米国）と空間伝送型ワイヤレス電力伝送（WPT : Wireless Power Transmission/Transfer)システムの普及に向けた協業を開始します。
- ✓ 日本ガイシのリチウム二次電池 EnerCera®とトレックスの低消費電力IC、OssiaのWPT技術を組み合わせ、WPT受電レシーバー開発キットを開発する。
- ✓ 離れた場所へ配線不要で電力を転送する技術で、メンテナンスフリーのIoTデバイスの開発を促進
- ✓ 5.8GHz帯WPTで協業

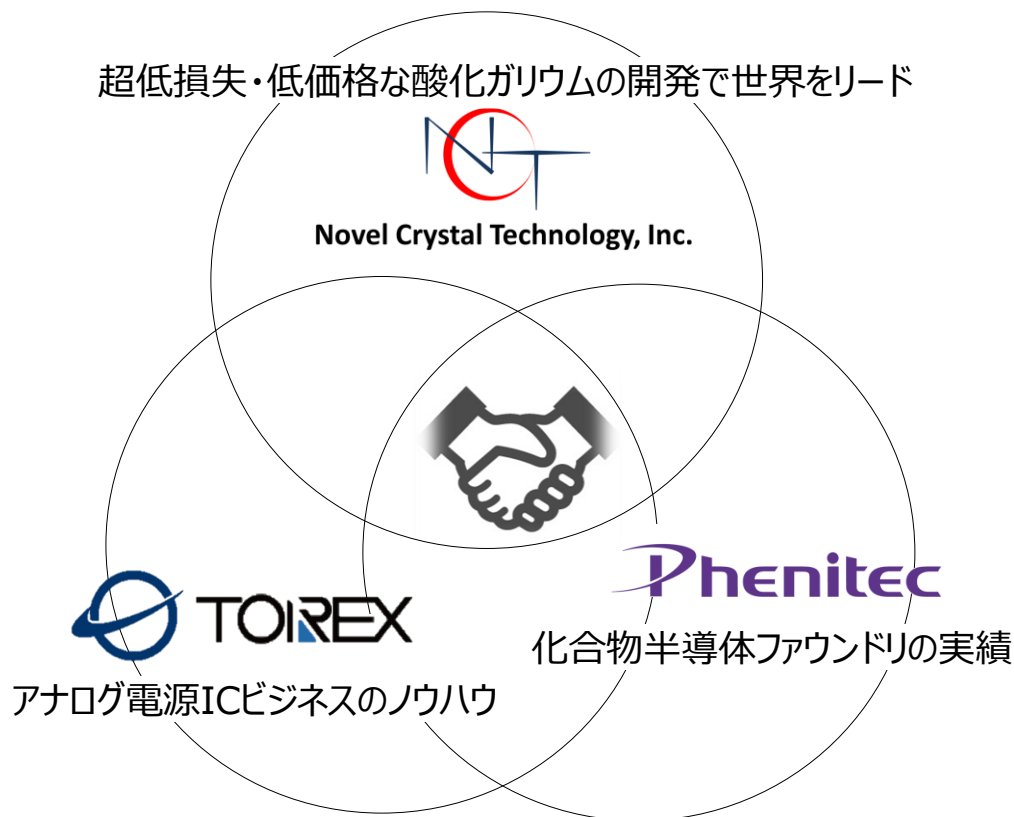


トレックスは今後も、より強い製品企画に繋がるコラボレーションを推進します！

・ ノベルクリスタルテクノロジー社との協業

次世代パワー半導体である酸化ガリウムを開発する
ノベルクリスタルテクノロジー社と資本提携

超低損失・低価格な酸化ガリウムの開発で世界をリード



酸化ガリウムは理論的性能がシリコンより圧倒的に高く、
SiC、GaNを超え、様々な分野で期待されています

ノベルクリスタルテクノロジー社 開発中デバイス

- ・ SBD (ショットキー バリア ダイオード)
FP-SBD : アノードメタル構造
トレンチSBD : トレンチ形状
- ・ トランジスタ

FP-SBDを先行して市場に供給し
Ga2O3デバイスの実績を作り
本命のトレンチSBDを供給していく

スローガン

For Further Growth Together
『さらなる飛躍を目指して』

目標

◆脱炭素社会に向けた確実な取組みの実現

パワー半導体の主力であるSiウエハー（IGBT、PMOS等）及びSiより、物質特性に優れる炭化ケイ素（SiC）や酸化ガリウム（Ga₂O₃）などのウエハー材料を使った、次世代のパワー半導体開発、量産に向けて取組む

◆高い収益性・効率性の実現

岡山工場（本社・第一）の統合による収益性向上及び、鹿児島工場のSiC事業を含む、増収増益に向けて取組む

● 省エネ、省電力に貢献するパワー半導体の需要は今後も拡大



EV

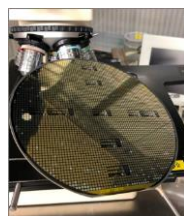


エネルギー

● シリコン系パワーデバイスの開発強化

IGBT、SplitGateMOSの開発

● 化合物半導体（SiC, 酸化ガリウム）の開発、販売促進



SiCデバイスのサンプル供給開始



ノベルクリスタル社が開発する酸化ガリウム

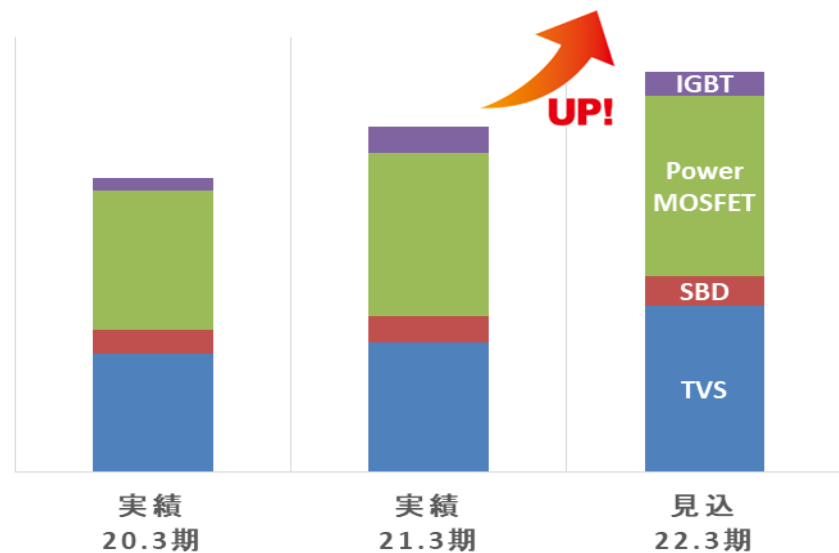
2025年にパワー半導体の売上高を2020年比1.4倍へ

【パワー半導体を中心に生産・新規引き合いが好調】

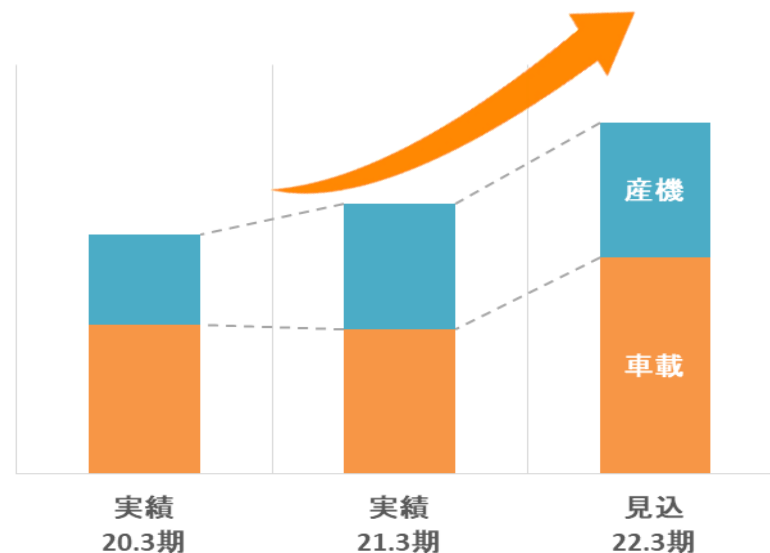
- 要因** : 自動車の電動化、産業機器、新エネルギー、5Gスマートフォン、家電などの需要好調
- デバイス** : IGBT、Power MOSFET、サージ保護素子 (TVS)、ショットキーバリアダイオード (SBD)
- 化合物材料** : 炭化ケイ素 (SiC)、酸化ガリウム (Ga₂O₃)、窒化ガリウム (GaN)



パワーデバイス売上高



車載・産機 売上推移



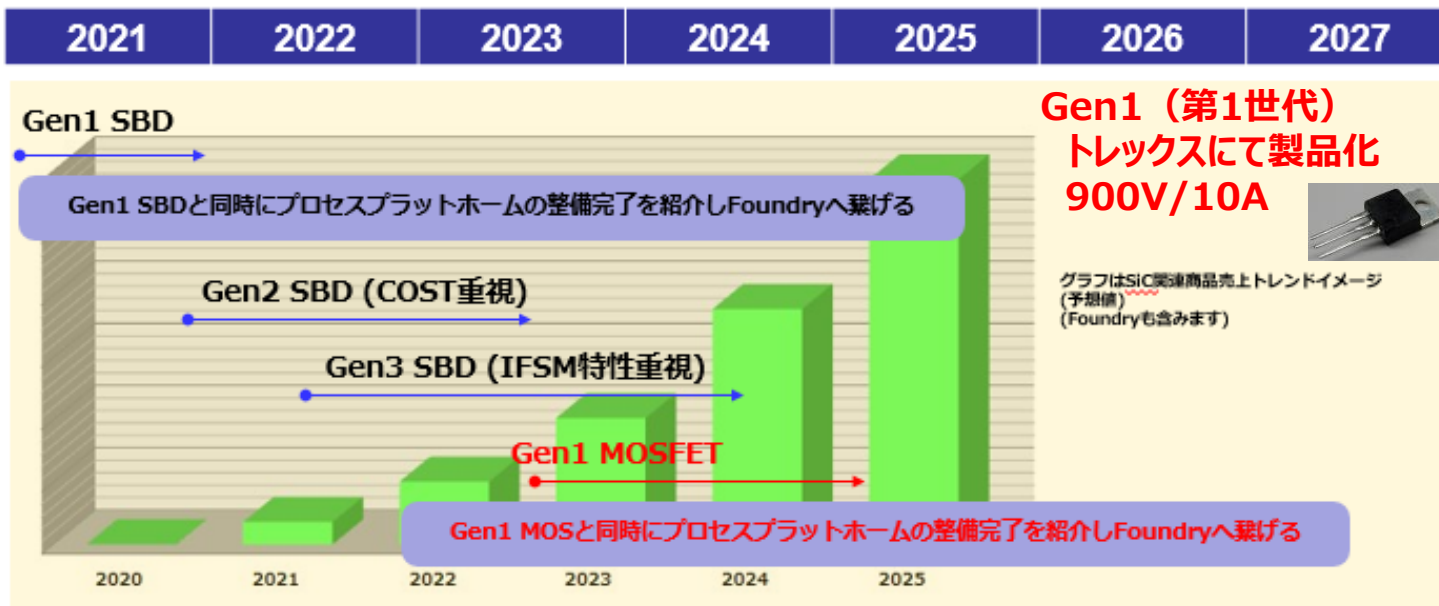
鹿児島工場6インチにてSiCデバイス開発、プロセスライン立上げ、量産化 価格競争力のある SiC SBD (ショットキーバリアダイオード) を開発中

➡SiC SBD Gen1 650V/10A サンプル出荷中

更なる低価格化へ向け、産総研が発起人の「つくばパワーエレクトロニクスコンステレーション (TPEC)」にMemberとして参加し、MOSFETを研究開発中

**Gen2(第2世代)
2022年3月期末
サンプル出荷予定**

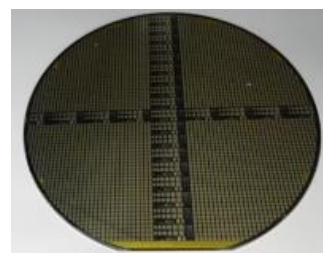
SiC SBDデバイス ロードマップ



高濃度基板使用

↓
**工程の簡略化
チップサイズシュリンク**

↓
✓ **低価格**
✓ **高品質**
SiCデバイス 自社生産



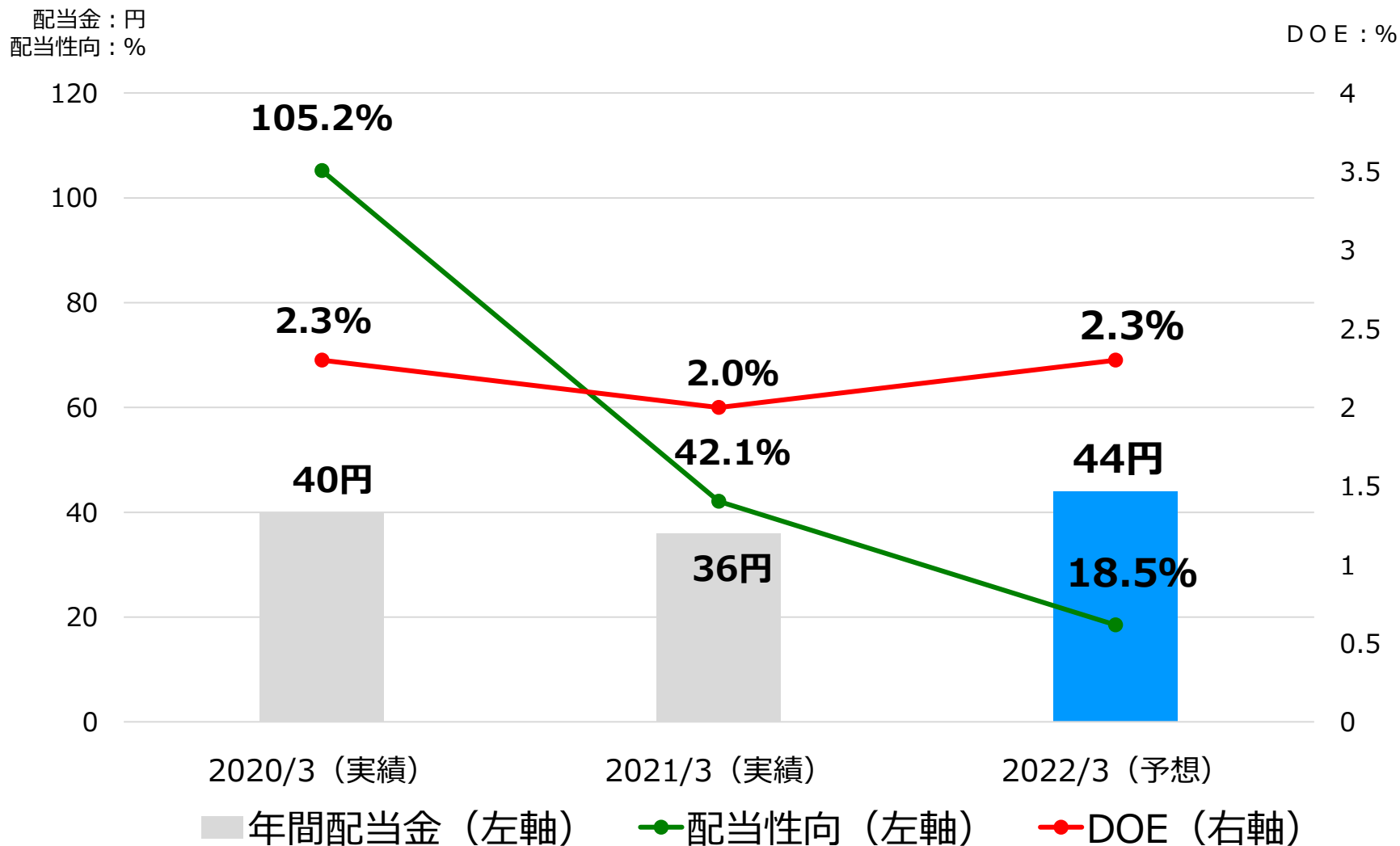
SiC-SBD, SiC-FETの開発、量産の進捗状況に応じた設備投資を行っていく

株主還元

戦略的投資による成長力の向上を図りつつ、当社を取り巻く経営環境並びに中長期の連結業績及び株主資本利益率の水準を踏まえて実施していくことといたします。

配当につきましては、業績水準を反映した利益配分として**連結配当性向20%以上**、安定的かつ継続的な株主還元
の拡充として**株主資本配当率（D O E）3%程度**を当面の目標として実施してまいります。

第2四半期に開示した44円から変更なし



決算説明会資料、会社紹介動画、レポート等
弊社IRサイトに掲載しておりますので、ご覧ください。

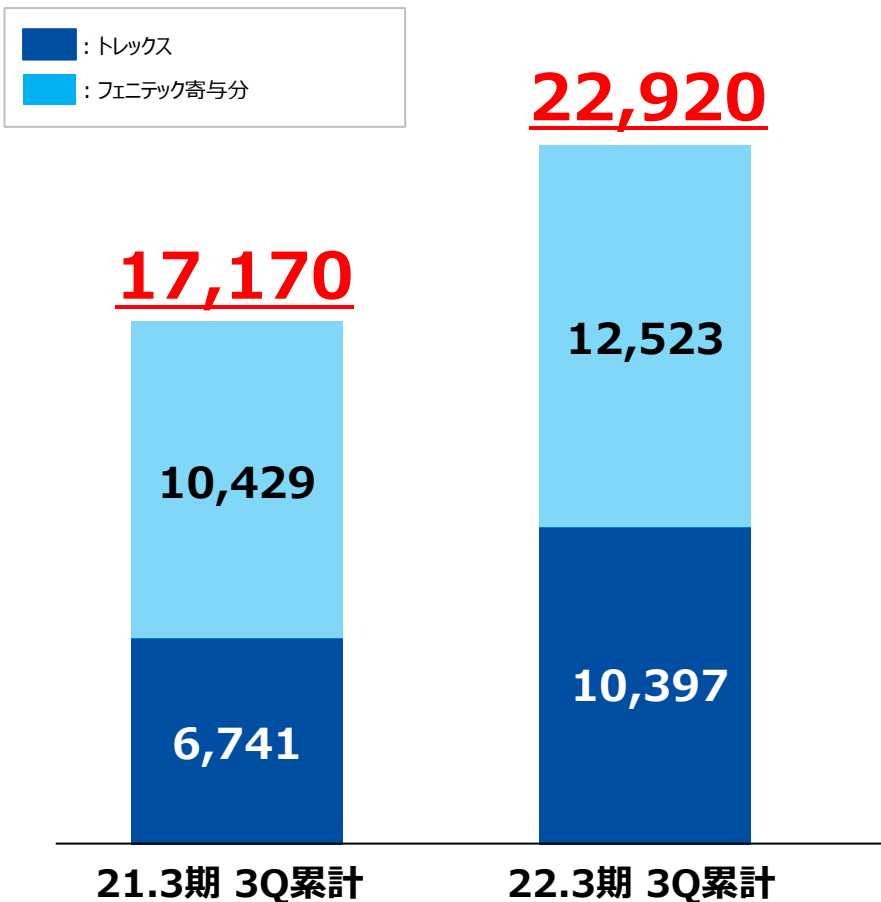
<https://ir.torex.co.jp/ja/index.html>



The screenshot shows the TOIREX IR website interface. At the top, there is a navigation bar with the TOIREX logo and a menu including 'ニュース', '会社案内', 'サステナビリティ', '販売代理店', '投資家の皆さまへ', '採用情報', and 'お問い合わせ'. Below this is a secondary navigation bar with '製品情報', 'テクニカルサポート', 'デザインサポート', and 'サンプル請求とご購入'. The main content area features a sidebar on the left titled '投資家の皆さまへ' with a list of links: 'IRニュース', '経営ビジョン', '業績・財務', 'IR資料室', '株主総会', '株式情報', 'IRカレンダー', '電子公告', 'IRよくあるご質問', 'IRメール配信', 'IRポリシー', and '免責事項'. The main content area is titled '投資家の皆さまへ' and includes social media icons for Facebook, Twitter, and LinkedIn, along with a 'このページを印刷' button. Below this is a paragraph of text: 'トレックス・セミコンダクター株式会社（東証一部上場）の投資家向け情報、株主向け情報を掲載しています。'. There are two video thumbnails: one for an interview with 芝宮 孝司 (Koji Shigenaga), CEO of TOIREX, and another for the '2021年3月期 第2四半期 決算説明会' (2021 Q2 Earnings Conference). At the bottom, there is a section for '最新IRニュース' (Latest IR News) with a link to '2022年02月21日 PR 株式会社ノベルクリスタルテクノロジーへの追加出資のお知らせ' (Notice of additional investment in Novel Crystal Technology Co., Ltd. on February 21, 2022).

Appendix

(単位：百万円)



トレックス

- 半導体の需要増加の影響を受けて
3Q、3Q累計ともに上場来最高の売上高
- 全ての地域が好調

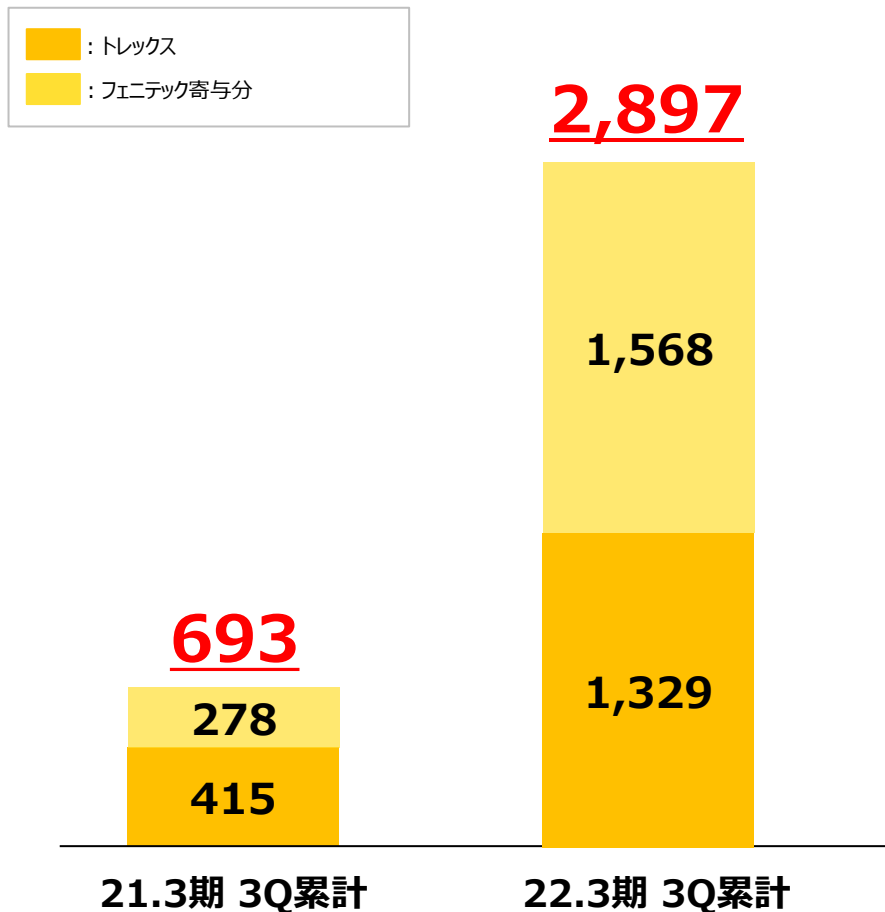
フェニテック

- 好調な市場環境により、3Q累計として
連結子会社化以後最高の売上高を計上
- 昨年度低調だった車載向けが回復し、日本
国内向け売上が大幅に増加

(単位：百万円)

	21.3期 3Q累計実績	22.3期 3Q累計実績	対前年同期比増減率
売上高	17,170	22,920	33.5%

(単位：百万円)



▶ トレックス

- 売上の大幅な増加により
3倍超の増益

▶ フェニテック

- 受注増加により工場の稼働率が
上昇し、5倍超の大幅増益

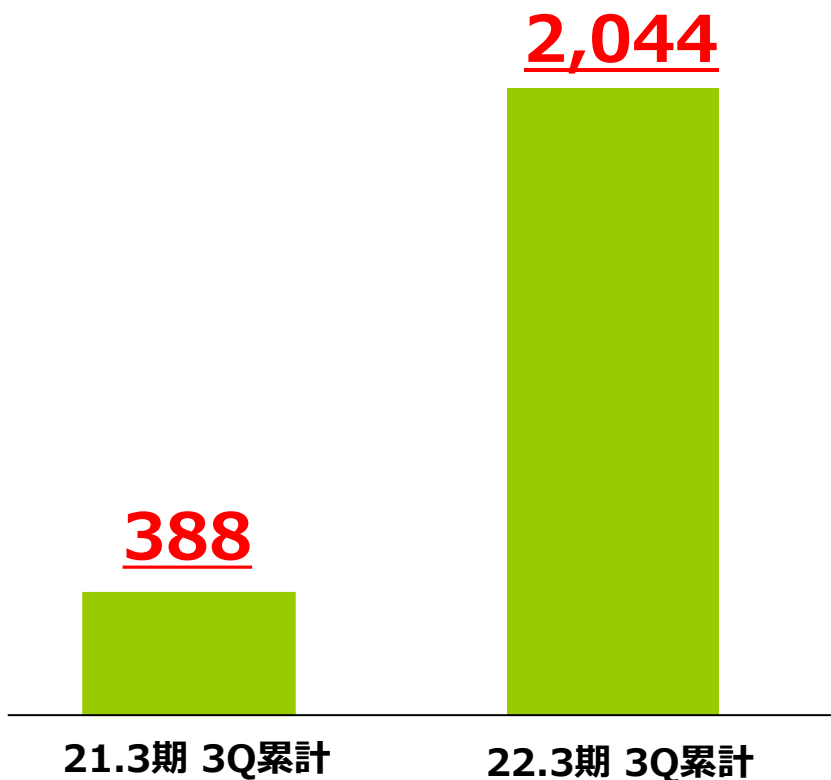
(単位：百万円)

	21.3期 3Q累計実績	22.3期 3Q累計実績	対前年同期比増減率
営業利益	693	2,897	317.6%

2022年3月期 第3四半期業績 親会社株主に帰属する 四半期純利益



(単位：百万円)



経常利益以下、各段階利益の増加により、大幅増益

(単位：百万円)

	21.3期 3Q累計実績	22.3期 3Q累計実績	対前年同期比増減率
四半期純利益	388	2,044	426.6%

(単位：百万円)

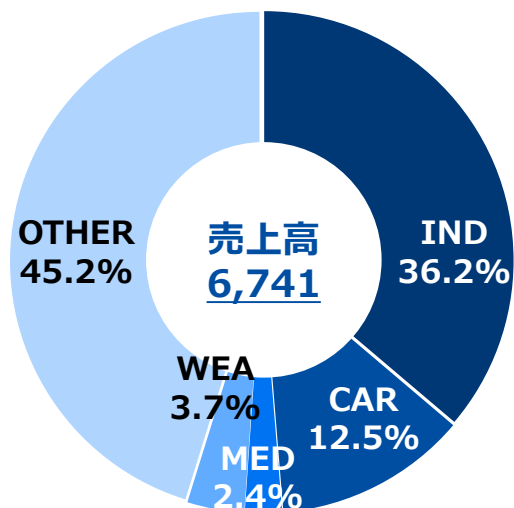
科目	21年3月期末	22年3月期 3Q末	対前期末増減
資産	31,512	32,750	1,238
負債	11,722	11,293	▲428
純資産	19,789	21,456	1,667

<参考> キャッシュ・フロー関連指標の推移

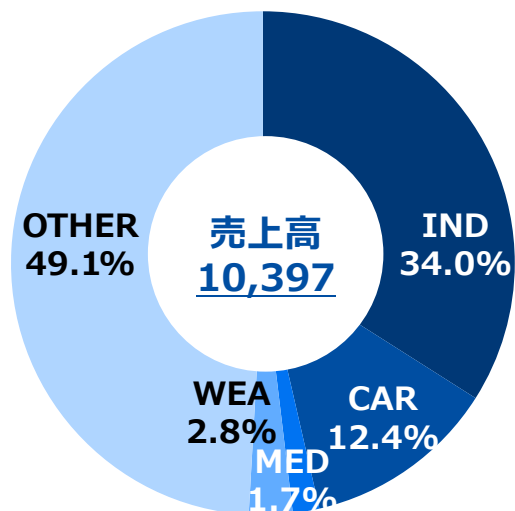
科目	21年3月期末	22年3月期 3Q末	対前期末増減
有利子負債	7,294	6,037	▲1,257
自己資本比率	62.8%	65.5%	2.7pt
D/Eレシオ	0.37	0.28	▲0.09

2022年3月期 第3四半期業績 ～アプリケーション別売上高（トレックス）：参考値

TOIREX



21.3期3Q累計実績



22.3期3Q累計実績

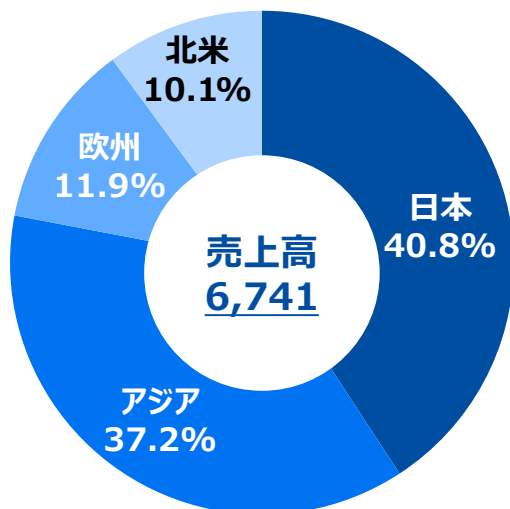
(単位：百万円)

アプリケーション		21.3期 3Q累計		22.3期 3Q累計		対前年同期比 増減率
		売上高	構成比	売上高	構成比	
IND	産業機器	2,440	36.2%	3,533	34.0%	44.8%
CAR	車載機器	842	12.5%	1,287	12.4%	52.9%
MED	医療機器	160	2.4%	173	1.7%	8.1%
WEA	ウェアラブル機器	250	3.7%	295	2.8%	18.0%
OTHER	その他機器	3,049	45.2%	5,109	49.1%	67.6%

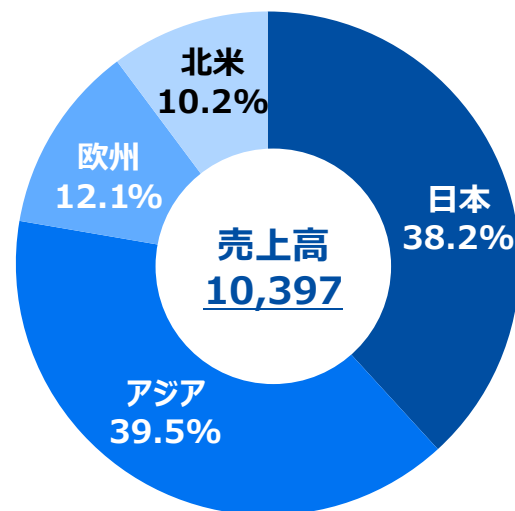
※注：アプリケーションの分類は変更することがあります。

2022年3月期 第3四半期業績 ～地域別売上高（トレックス）

TOIREX



21.3期3Q累計実績



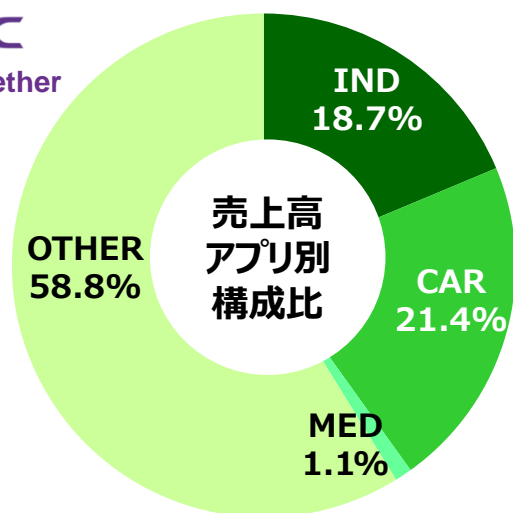
22.3期3Q累計実績

(単位：百万円)

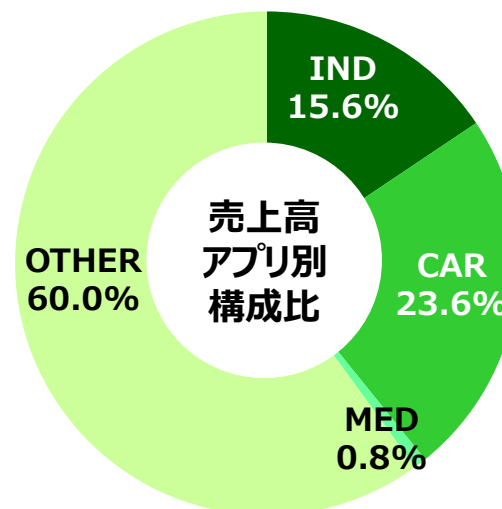
地域 (D-in)	21.3期 3Q累計		22.3期 3Q累計		対前年同期比 増減率
	D-in 売上高	構成比	D-in 売上高	構成比	
日本	2,749	40.8%	3,972	38.2%	44.5%
アジア	2,506	37.2%	4,110	39.5%	64.0%
欧州	805	11.9%	1,256	12.1%	56.0%
北米	681	10.1%	1,059	10.2%	55.5%
平均為替レート (1\$=)	105.9円		111.4円		-

D-in 売上高：デザイン・イン・ベース売上高。当社の製品を搭載した製品が企画・設計され、実質的に受注を獲得した地域をベースとした売上高

2022年3月期 第3四半期業績 ～アプリケーション別売上高（フェニテック）：参考値



21.3期3Q累計実績



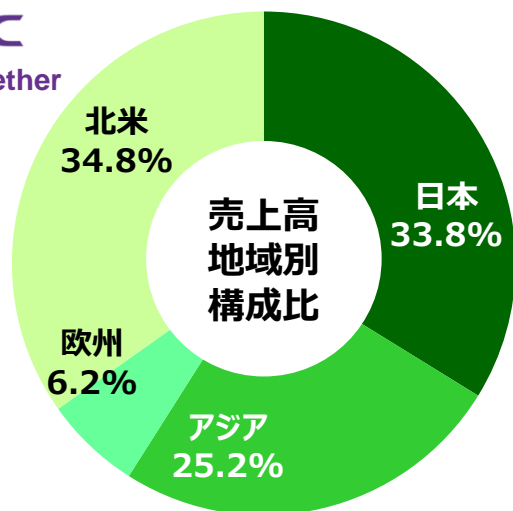
22.3期3Q累計実績

(単位：百万円)

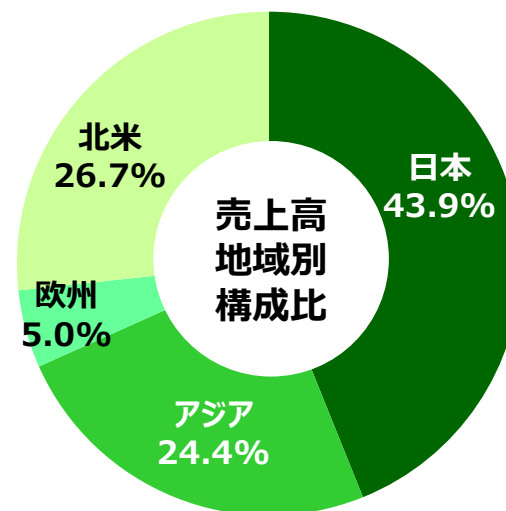
アプリケーション	21.3期 3Q累計		22.3期 3Q累計		対前年同期比 増減率
	売上高	構成比	売上高	構成比	
IND 産業機器	2,129	18.7%	2,225	15.6%	4.5%
CAR 車載機器	2,445	21.4%	3,362	23.6%	37.5%
MED 医療機器	126	1.1%	117	0.8%	▲7.1%
OTHER その他機器	6,717	58.8%	8,551	60.0%	27.3%

※注：アプリケーションの分類は変更することがあります。
トレックス・セミコンダクター向けの内部取引分を含む

2022年3月期 第3四半期業績 ～地域別売上高（フェニテック）



21.3期3Q累計実績



22.3期3Q累計実績

※ 顧客の所在地別に区分しています。

(単位：百万円)

地域（顧客）	21.3期 3Q累計		22.3期 3Q累計		対前年同期比 増減率
	売上高	構成比	売上高	構成比	
日本	3,864	33.8%	6,252	43.9%	61.8%
アジア	2,871	25.2%	3,477	24.4%	21.1%
欧州	706	6.2%	721	5.0%	2.1%
北米	3,976	34.8%	3,805	26.7%	▲4.3%
平均為替レート（1\$=）	105.9円		111.4円		

※注：日本には、トックス・セミコンダクター向けの内部取引分を含む

鹿児島工場の現状

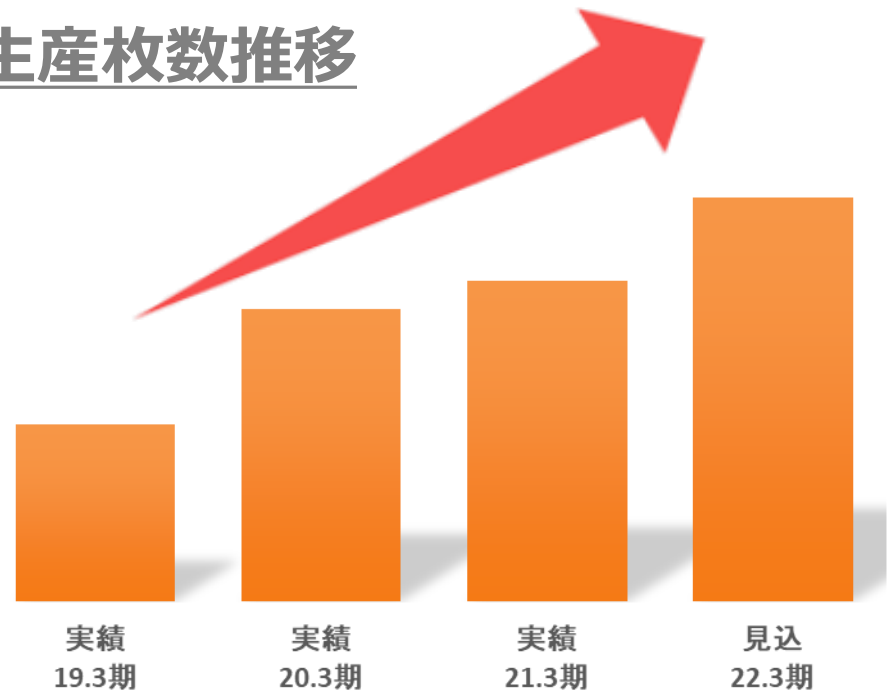
- 量産品の安定受注、ファウンドリー案件のシリーズ展開、新規案件への積極対応、化合物ライン(SiC、GaN)のビジネス確立を計画中
- 増産に向けた補強、生産性向上への取組強化による収益アップ取組中
- Siパワーデバイス新製品の量産化、SiC SBDの量産化に向け取組中

鹿児島工場

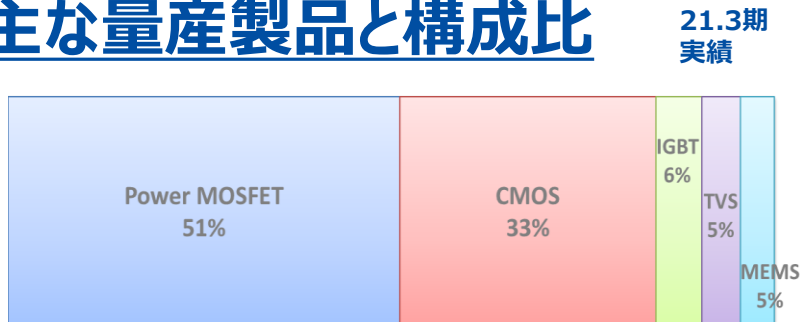


23.3期 19,000枚/月 安定した生産体制に向けて取組み

生産枚数推移



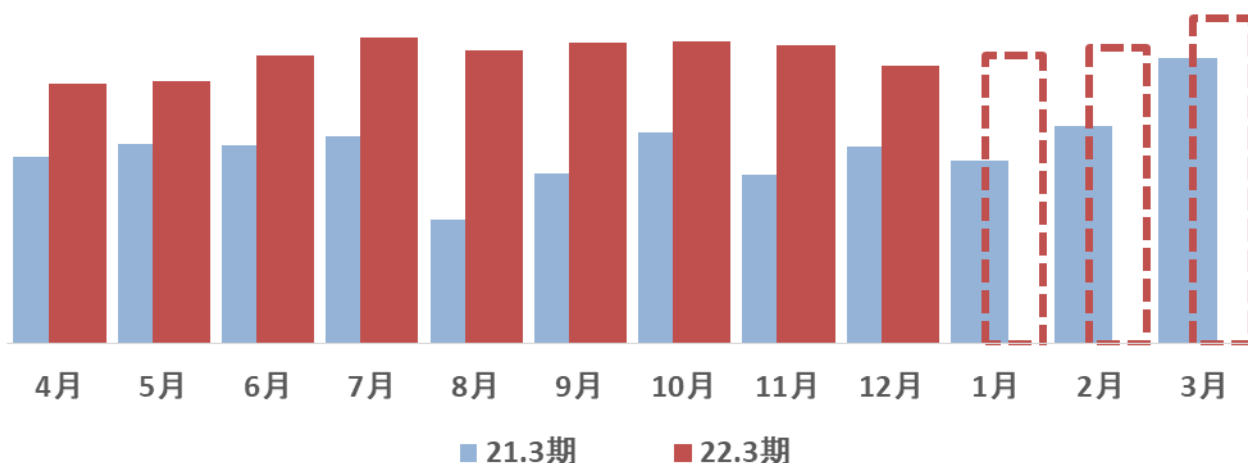
主な量産製品と構成比



岡山 本社工場の現状

- 半導体需要の高まりに対応する為、暫くは本社工場での生産を継続
- 本社工場稼働により生産能力UPを図ることで、計画以上の売上達成見込
- フル稼働で生産を行いながら更なる増産に向けた取組を実施

岡山工場 売上推移



岡山工場



本資料に記載された内容は、2022年3月12日現在において一般的に入手可能な情報と、合理的と判断する一定の前提に基づき、当社が作成したものです。

本資料に記載されている当社の中期計画、見通し等に関する記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものです。

実際の業績は、これらの要素により本資料の記載内容と大きく異なる可能性があります。

投資に関するご決定をされる際、本資料のみに全面的に依拠することはお控えいただき、みなさまご自身のご判断でなされるようお願い致します。

Powerfully Small!

常に豊かな知性と感性を磨き、
市場に適応した価値ある製品を創出し、
豊かな社会の実現と
地球環境の保全に貢献するとともに、
私たちの事業に携わるすべての人々が
共に繁栄すること

